

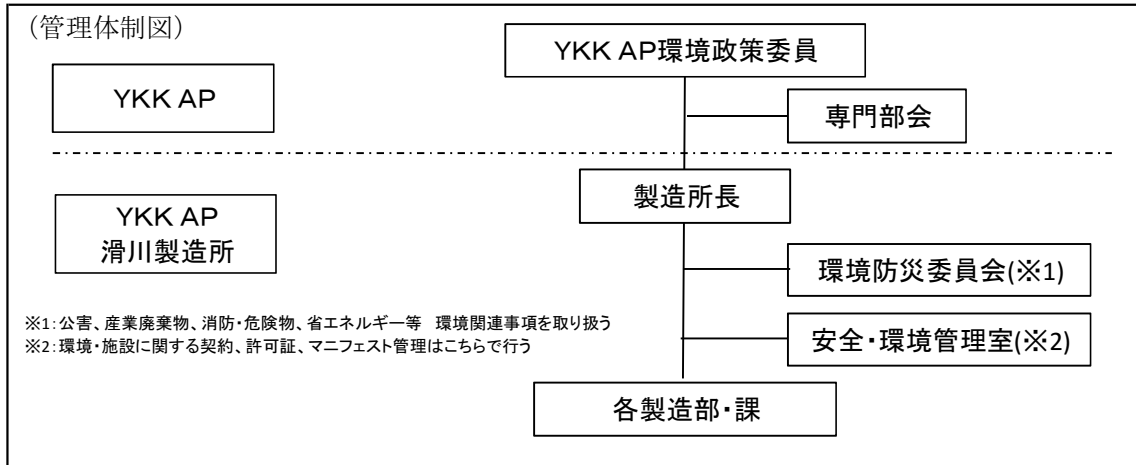
様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第1面）

産業廃棄物処理計画書	
令和 5 年 6 月 28 日	
富山県知事	
新 田 八 朗 殿	
提出者	
住 所 富山県滑川市杉本3003	
氏 名 YKK AP株式会社 滑川製造所 執行役員 製造所長 野坂 直生	
（法人にあつては、名称及び代表者の氏名）	
電話番号 076-477-2360	
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	YKK AP株式会社 滑川製造所
事業場の所在地	富山県滑川市杉本3003
計画期間	令和5年4月1日 ～ 令和6年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	金属製品製造業
② 事業の規模	出荷額 32,815百万円
③ 従業員数	1,400名
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙1のとおり

（日本産業規格 A列4番）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（ 令和4 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類_	別紙2のとおり	
	排 出 量_	t	
	（これまでに実施した取組） 製造工程で、不良削減・歩留り向上に取り組んでいる。 廃プラの分別を徹底し、R P Fや有価物回収。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類_	別紙2のとおり	
	排 出 量_	t	
	（今後実施する予定の取組） 生産量が増加(121%)する計画となっているので、それに伴い廃棄物量が増加する計画となるが、以下の取組みにより削減する計画 ・ 製造工程で、不良削減・歩留り向上の取組み継続 ・ 更なるR P F化、有価物化の新規開拓		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 現状の委託処理業者が適正に処理できるよう、工程毎に発生した廃棄物を業者別・種類別に分別を行っている
②計画	（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 現所の処理ルートに基づき、分別基準は確立している。今後、更なる発生抑制、有価物への転換を行うため、随時分別を実施していく

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙3のとおり	
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
	全排出において、焼却残渣の路盤材化など埋立を行わない業者へ処理委託を行い再資源化を推進している。		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	全処理委託量	別紙3のとおり	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 全排出物において、埋立とならないように再生利用を行う処理業者へ処理委託を行い再資源化を継続して推進する。		
※事務処理欄			

(第6面)

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

【別紙1】

【産業廃棄物の一連の処理の工程】

種類	廃棄物名称	中間処分	最終処分
汚泥	リウッド廃水脱水	焼却	路盤材
	研磨スラッジ	焼却	路盤材
	水性塗料カス	焼却	路盤材
	側溝汚泥	焼却	路盤材
	シリカゲル	混合	埋戻し
	石膏ボード切断粉	混合	埋戻し
廃油	イソシアネート	焼却	路盤材
	ポリオール	焼却	路盤材
	シーリング材	焼却	路盤材
	洗浄廃液	混合	焼却、スラグ化
	廃接着剤(ナフトサーム)	混合	焼却、発電
廃アルカリ	UF透過廃液	中和	セメント原料
廃酸	廃アルカリ	中和	セメント原料
廃プラ	廃プラスチック	破碎・選別	シュレッダーダスト→溶融→路盤材
	木樹脂	破碎・選別	固形燃料
木屑	木屑	破碎・選別	燃料
金属くず	モルタル付き鉄屑	切断・選別	金属:製鋼原料 がれき屑:人工碎石
	ウレタン付き鉄屑	選別、破碎・選別	金属:製鋼原料 その他:サーマルリサイクル
ガラス類	複層ガラス	破碎・選別	シュレッダーダスト→溶融→路盤材
	Low-Eガラス	破碎・選別	ガラス原料

【別紙2】

【産業廃棄物の排出の抑制に関する事項】

単位:トン

①現状	【前年度(令和4年度) 実績】									
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	ガラス屑	廃プラ類	金属屑	木屑	合計
	排出量	129	57	21	60	598	175	97	149	1286
②計画	【令和5年度 目標】									
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	ガラス屑	廃プラ類	金属屑	木屑	合計
	排出量	159	75	21	65	648	246	126	166	1506

【別紙3】

【産業廃棄物の排出の抑制に関する事項】

単位:トン

①現状	【前年度(令和4年度) 実績】									
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	ガラス屑	廃プラ類	金属屑	木屑	合計
	全処理委託量	129	57	21	60	598	175	97	149	1286
	優良認定処理業者への 処理委託量	129	57	21	60	137	175	94	0.2	674
	再生利用業者への 処理委託量	129	57	21	60	598	175	97	149	1286
	認定熱回収業者への 処理委託量	108	1.0				0.2			109
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	1.5								1.5
②計画	【令和5年度 目標】									
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	ガラス屑	廃プラ類	金属屑	木屑	合計
	全処理委託量	159	75	21	65	648	246	126	166	1506
	優良認定処理業者への 処理委託量	159	75	21	65	137	246	126		828
	再生利用業者への 処理委託量	159	75	21	65	648	246	126	166	1506
	認定熱回収業者への 処理委託量	120	1.2				0.2			121
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	2.0								2.0